

千葉市の広報番組

市内のさまざまな情報をお届けします。



ちばテレビ

3ch 毎月第1日曜日
9:00~9:15

市の魅力を元気いっぱいお届けします。
5月のテーマは、千葉市の人気お取り寄せグルメ紹介!

司会=竹内里奈(写真右)
レポーター=石崎日梨(同中央)
荒町紗耶香(同左)

ベイ・モーニング・グローリー bayfm78

FM78.0MHz
毎週日曜日 8:00~8:55



さわやかな音楽とともに、市の魅力と旬な情報をお届けします。
DJ=神田れいみ

ちば情報Clip J:COM

11ch 毎月第1・3水~土曜日
9:00~9:10、20:00~20:10



市からのお知らせと生活に役立つ情報をお届けします。
司会=山口真孝

問広報広聴課 ☎245-5014 FAX245-5796



温故知新

千葉を知る

十二、新しいまち、新しいふるさと

戦前まで、総じて消費都市であった千葉市は、戦後の湾岸部への工場進出や内陸工業団地の造成によって、工業・港湾都市へと変貌します。高度経済成長期に入ると、日本の心臓部である東京のベッドタウンとしての性格が急速に強まります。東京通勤者に良好な住環境で手頃な住宅を大量に供給するため、市内各地で大規模団地の造成が行われ、新しいまちがつくられていきました。

1960年代初め、中心市街地周縁から内陸にかけて小規模な団地などの造成が行われていましたが、1960年代中頃になると様相は一変、海岸の埋め立て地や内陸部に次々と大規模団地が造成されます。1965年に約33万人だった市の人口は、その後の10年間で倍近くにまで急増しました。



稲毛海浜ニュータウン(1973年)

新しいまちには、学校や公園、商業施設などが計画的に整備され、全国から日本の経済発展を支える人々が集まってきました。次々に生まれた新しいまちは、そこで暮らす市民の新しいふるさとになり、新たな世代を育てています。

問都市アイデンティティ推進課 ☎245-5660 FAX245-5476

動物公園日誌

日直 ハラパン (コツメカワウソ)



ぼくはコツメカワウソのハラパン。生まれも育ちも千葉市動物公園、きっすいの千葉っ子だよ。

ぼくは自分で言うのもなんだけど、気分屋なんだよね。せっかく飼育員さんがエサのドジョウを水の中に放してくれても、泳ぐのがめんどくさいときはねているよ。でも、泳ぎたくないけどエサは食べたいときもあって、そんなときは陸の上に投げられるように飼育員さんをじっと見つめるんだ。捕まえたドジョウは草の上に並べておくこともあるよ。人間から見ると、お供え物をしているように見えるみたいだね。そういうつもりではないんだけどな。

最近、ぼくが住むところに植物が増えて、草やはっぱを集めて、木の穴の中に布団のように並べて遊んでいるよ。でも、そこでねるわけ

じゃないんだ。ねるときは、物かげの草の上で静かにねているよ。起こされるときげんが悪くなっちゃうから、ねているときはそっとしておいてね。午前中はねていることが多いかな。

そうそう、ぼくね、人間のことが大好きなんだ。見に来てくれたら、立ち上がって一生けんめいアピールしちゃうよ。お客さんからは、丸太に体をゴシゴシしている姿がかわいって評判みたい。あれね、実は泳いでぬれちゃった体をかわかすためにこすりつけているんだよ。でもかわいてくると、また水の中に入りたくなくなっちゃうんだよね。不思議なもんだ。



そんなかわいい姿が評判のぼくだけど、飼育員さんによると、ごはんを食べているときだけは鬼のようにするどい顔つきをしているんだって。自分ではぜんぜん気が付かなかった! かわいい顔で食べられるように練習しよう。

問動物公園 ☎252-1111 FAX255-7116